

Real Wine Guide

リアルな視点と本音で綴る、
ワインガイド

リアルワインガイド




本体価格 1,714 Yen (税別) 2017 冬 第56号

56 2017
winter

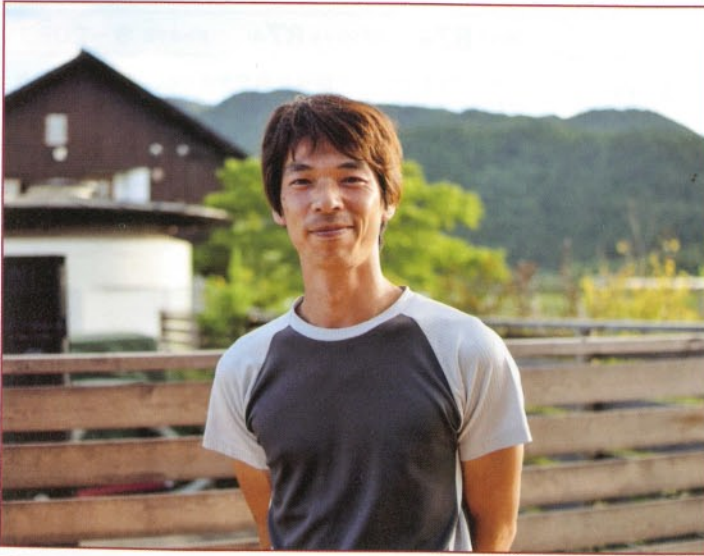
3000円以下の本当においしいワイン
2016年 旨安ワイン




Eguchi

 <p>かざま甲州 SurLie '14 (白)</p> <p>2,050 円</p>	<p>今飲んで 88 ポテンシャル 88 飲み頃予想 今 ~ 2028</p> <p>このワインはいつも優しい。だから、2014年もやっぱりやんわり。ふっくらとした果実味とホッとするような甘み、それらを甲州種の苦みがピシッとまとめながら支えている。液体の目もきっちり詰まっているし、味わいには思いのほかコクがある。だけど、不必要にまったりしてないのは、酸が良い仕事をしているから。全体的にちょうど良いバランスでまとまっており、飲めばオイシーと惚けちゃいます。(16年03月試飲)</p>
 <p>キュベ かざま甲州 辛口 '15 (白)</p> <p>2,570 円 ワイナリーより購入</p>	<p>今飲んで 88 ポテンシャル 88 飲み頃予想 今 ~ 2030</p> <p>少しとろみのある黄色いフルーツ香に、あれっシャルドネ?と思ったけれど、レッキとした甲州です。味わいも香り同様黄色い果実が主体で、飲み心地はたゆたゆ〜としている。コクのある果実味と複雑な味わい、途中から存在感を増す酸がちょうど良いバランスでまとまっている。ミネラルも少し感じるし、味もしっかり乗っている。甲州種っぽい風味がほとんどなので狐につままれたような気もするけれど、とても美味しいのでこれでいいのだ。(16年11月試飲)</p>
 <p>古壺 デラウェア '14 (白)</p> <p>1,230 円</p>	<p>今飲んで 86+ ポテンシャル 86+ 飲み頃予想 今 ~ 2026</p> <p>ワイナリーに隣接するカフェでのみ飲めるワイン。この古壺シリーズは基本的に無ろ過だけど、2014年はウッカリと少し粗い過をしてしまったというエピソードつき。香りはほんのりデラ香。とてもくっきりとした味わいで、口ですぐに甘みと苦みがバキッと出てくる。初めは隠れていた酸も徐々に出てきて、そのシャッキリとした姿と清々しいまでの味わいがなんだか心地よいのです。(16年03月試飲)</p>

カーブドッチワイナリー



これまでカーブドッチのワインは何回も試飲してきたが、そのたびに「？」が頭を駆け巡るので、訪問することはなかった。しかし、ここ最近立て続けに信頼できるショップの方たちとフェルミエの本多さんから「変わりましたよ〜！」と耳にして、ならばということで何うことに、ワインを飲んで、確かにその通り!と大納得。写真の方は醸造責任者の掛川史人さん(1980年生まれ)。2003年に入社後、営業職を経て栽培を担当。その後2006年に突然、醸造責任者に抜擢されたが、全くの未経験で教えてくれる人もいない中、孤軍奮闘しながらワイン造りを続けてきた。ご本人も「マイナスからのスタート」と語るほどで、なるほど、「？」だった理由も見えてきた。それから地道な努力を続け、醸造所の設備も整え、自分の造りたいワインが見えてきたのが2014年。そして誕生したのがSO2無添加で造る動物シリーズ。このワインを造ることで見えてきたものも多く、それが全体の品質アップにもつながっている。人に歴史ありなのだ。

 <p>ふらみんご (ピノ・ノワール) '15</p> <p>2,916 円</p>	<p>今飲んで 87 ポテンシャル 87+ 飲み頃予想 今 ~ 2028</p> <p>自社農園のピノから造られるこのワインはSO2無添加。枯れ葉と大地とかつお節のナチュラルワイン香。とても明るい表情でやんわりとジューシーな飲み心地。この愛らしい雰囲気はローヌあたりのピノにちょっと似ている。もう少しうま味があると嬉しいなあとは思ったが、なんとこの2015年がデビュー作。いや、きっちり美味しいです。孤高のピノではなくて、会いに行けるアイドルみたいな良い意味での庶民派ピノ。今後も楽しみ。(16年09月試飲)</p>
--	--

 <p>ドルンフェルダー '15</p> <p>3,456 円</p>	<p>今飲んで 87 ポテンシャル 87+ 飲み頃予想 今 ~ 2030</p> <p>日本ではちょっと珍しい品種のドルンフェルダー。色合いはしっかりと濃い。でも香りも飲み心地もとてもソフトで、暴れている感じは一切ない。妙な苦みなどもなく、滑らかな液体がスルッと喉を通っていく。味付きも良くボディもしっかりしているが、もう少し果実のふっくら感があるとさらに親しみやすい味わいとなること間違いなし。だけど、タンニンの質が良いので、濃いけれどスルスル飲めちゃいます。(16年09月試飲)</p>
 <p>サブル '14</p> <p>5,400 円</p>	<p>今飲んで 88+ ポテンシャル 89 飲み頃予想 今 ~ 2036</p> <p>カーブドッチのフラッグシップと言えるワインがこのサブル。メルロ、カベルネ・ソーヴィニヨン、プティ・ヴェルドのブレンド。黒果実が主体の香りだけど瑞々しさたっぷりなので、重さは全くなって明るい雰囲気。液体も滑らかでやんわりとしているが、重心は低めで締まるところは締まっている。適度なボディ感がありながらも、飲み心地はとて軽やかでエレガント。良い意味で肩の力が抜けたワインで、シミジミとした美味さを楽しめる。(16年09月試飲)</p>
 <p>ミリユ ブラン '15 (白)</p> <p>2,052 円</p>	<p>今飲んで 87 ポテンシャル 87 飲み頃予想 今 ~ 2026</p> <p>ミリユはテーブルワイン的位置づけで、この白ワインは契約農家が栽培したシャルドネを主体に造られる。クッキリはっきりとした爽やかな香りの中にハチミツがちりり。シャルドネの風味がきちんと活かされた味わいで、ほんのりと感じる塩っぽさと心地良い苦みが全体のメリハリを支えてくれる。ナチュラルな風合いに溢れたワインで、その素朴な佇まいがまた魅力的。この価格ならば納得です!(16年09月試飲)</p>
 <p>みつばち (シュナン・ブラン/白) '15</p> <p>2,916 円</p>	<p>今飲んで 88 ポテンシャル 88+ 飲み頃予想 今 ~ 2028</p> <p>初めは香りも弱いけれど、時間とともに優しさに溢れたしじみ香がゆっくりゆっくり顔を出す。この年は意図的に酢酸菌で酸を発生させたとのことだけど、試飲時の酸はちょい弱め。でも、それがやんわりとした味わいにピッタリな量だし、ジューシーな飲み心地、ジワジワと顔を出すうま味、最後を締める心地よい苦みなど、堪らん美味しさを楽しめる。ひたすらスルスルと飲み続けられそうところが魅力でもあり、怖いところでもある。(16年09月試飲)</p>
 <p>かわうそ (アッサンブラージュ/白) '15</p> <p>2,916 円</p>	<p>今飲んで 88 ポテンシャル 88+ 飲み頃予想 今 ~ 2028</p> <p>シャスラーやヘルダー、オーセロワなど7つの品種から造られるこのワイン。はじめは期待したよりも香りが弱めだけど、徐々に華やかさが増していく。やんわりとした飲み心地と味わいで、このワインもまた永遠に飲み続けられそうある意味危険なタイプ。この年に使用した7品種のうち3品種のブドウ樹は抜いてしまったとのことなので、この味わいは今年だけのもの。その一期一会感がまた美味しさに拍車をかけるっもの。(16年09月試飲)</p>
 <p>アルバリーニョ '15 (白)</p> <p>4,536 円</p>	<p>今飲んで 88+ ポテンシャル 89 飲み頃予想 今 ~ 2030</p> <p>柑橘類や黄桃のクリアだけで優しい香り。飲み心地も優しくて、そのふんわり感にはちょっとビックリ。液体には厚みがあり、味わいには集中感もあってとても美味しい。飲んでいくうちにどんだん味がまとまっていくという印象で、途中からグーンとふくよかさが増す。もう少し酸があれば、さらに味わいに締まりと複雑さが出てくれそうだけど、今のままでも十分美味しいなあ。この角田浜の土壌とアルバリーニョの相性はばっちり。(16年09月試飲)</p>

